

1944年8月2日、シンティとロマの犠牲者を悼むヨーロッパ・ホロコースト80周年記念集会

2024/08/02

国連人権高等弁務官事務所

ヴォルカー・ターク国連人権高等弁務官の挨拶

「1944年8月2日、アウシュヴィッツ・ビルケナウ死の収容所を含め、ナチスによって無残にも殺害された何十万人ものシンティとロマの追悼記念式典に、直接参加できないことを残念に思います。また、ナチスの墮落・倒錯したイデオロギーの犠牲となった600万人のユダヤ人、障害者、LGBTIQ+の人々のことを想起します。そして、すべての生存者、特に今日のシンティとロマの生存者を称えます。私たち一人ひとりが、彼・彼女らの証言を受け継いでいかなければなりません。それは、憎悪と非人間性から生じる想像を絶する恐怖への警告です。私たちは歴史の教訓に耳を傾けなければなりません。追悼と真実を語ることは重要です。真実が語られないとき、差別と暴力の連鎖が続くことを私たちは知っています。ロマが今も不安定な状況におかれていることは悲劇です。差別、排除、疎外、これら何世紀も前からあることが、今日も、マイノリティ全般に対するヘイトスピーチがエスカレートしていることを背景に続いています。国連は、ホロコーストの惨禍を二度と繰り返さないという理念のもとに設立されました。この歴史的な『ヨーロッパ・ロマ・ホロコースト記念日』に集い、より包括的で、公正で、平和な世界に向けて、一層の努力を重ねましょう。」